

# 会告

- 溶接界発展のための日本溶接会議（JIW）の改組と日本溶接協会との共同事業の開始に関する件
- 「インフラ溶接構造物の維持管理のための評価技術の展開」ミニ研究会 会員募集
- 学生会への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について
- 一般社団法人溶接学会第85回通常総会並びに平成29年度春季全国大会開催通知
- 会員専用ページ「マイページ」の開設について
- 平成28年熊本地震による被災会員（個人会員）の平成28年度会費免除について
- WEB掲載の溶接学会論文集34巻（平成28年度）の印刷物の購入について
- 平成29年度春季全国大会講演概要の頒布について
- 溶接学会主催行事予定について
- Mate2017 第23回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム — IoT時代に求められる電子システム創成 — 参加者募集

## 溶接界発展のための日本溶接会議（JIW）の改組と日本溶接協会との共同事業の開始に関する件

当会と一般社団法人日本溶接協会は、両団体で運営を図ってきた日本溶接会議（JIW）を改組し、国際溶接学会（IIW）の対応を充実させるとともに高い見地から当会及び日本溶接協会の共同事業を推進することを両団体の理事会において承認しました。10月1日から順次活動を開始いたします。

近年、中国等における現地生産コストの上昇等により製造の日本への国内回帰が一部で顕著になるとともに、2020年の東京オリンピック需要やインフラ投資等により国内の建築鉄骨部門は好調な状況にあります。これらを背景に溶接関係者の不足は顕著になってきており、日本溶接協会が実施する溶接管理技術者や溶接技能者の受験者数は昨年度より増加に転じております。然しながら地方を中心とした溶接教育関係者の減少は深刻に必要な溶接教育を十分に実施できない状況にあるため、新規受験者の合格率低下が顕著となっています。世界的に特殊工程と類される溶接は、認証による品質維持が必須であり、このままでは世界をリードする日本の工業製品の基盤技術である溶接の品質を維持することが難しくなることが懸念されます。

その中で溶接界における研究者数の減少は、3Dプリンタ（Additive Manufacturing、積層造形）や超高張力鋼の溶接など最先

端の研究に関する競争力を低下させるものとなります。また、地方を中心とした教育研究者の減少は溶接研究だけでなく溶接教育そのものの機会と質を低下させるものとなります。

以上のように溶接界が直面している危機的状況に鑑み、当会と日本溶接協会は溶接界の発展のために一致協力して取り組むことといたしました。

具体的には日本溶接会議（JIW）を従来のIIW対応に加えて、当会と日本溶接協会が共同推進が必要な企画を幅広い視点から立案する組織に改組するものです。共同企画立案のためJIWに共同企画委員会を設置し、当会の企画委員会と日本溶接協会の総合企画会議とが連携し、溶接界発展のための新たな取組みを立案・実行するものです。

本案は9月6日にJIW理事会、9月14日に当会理事会、9月28日に日本溶接協会理事会において承認を得たため、新体制に10月1日より移行していきます。

今後、JIWの共同企画委員会委員の選任と具体的な活動案作成を開始し、12月を目処に新体制によるJIWの第1回理事会にて審議する計画です。

【平成28年10月5日プレスリリース】

## 「インフラ溶接構造物の維持管理のための評価技術の展開」ミニ研究会 会員募集

### 1. 趣旨

経年化、老朽化が進行する社会インフラを適切に維持管理し長期的に供用していくことが、安全・安心な国民生活を担保するために不可欠な課題となってきています。本研究会では、橋梁、ライフライン（水道、ガス）、港湾施設などのインフラ溶接構造物の点検、補修補強を含めた維持管理のための各種評価技術に関する最新研究の紹介、技術動向のレビュー、維持管理現場の現状および将来的な課題、ニーズに関する調査を行います。各要素技術と現場のニーズとのマッチングを図り、インフラ溶接構造物の維持管理に関する新しい研究分野の開拓に繋がる情報交換、ネットワーク形成の場とすることを目的としています。

### 2. 内容

本研究会では、インフラ構造物における経年劣化（疲労、腐食）や、突発的事象（地震、水害、火災など）による損傷に対し、特に溶接部、接合部（ボルト、リベット、接着）に注目した構造物への影響評価や健全度診断、非破壊検査、補修補強に関する研究、技術動向の調査を行います。産官学の研究者、技術者を交え、インフラ維持管理の課題、ニーズなどの現状について勉強会や討論会、現場見学を通して意見交換します（勉強会、討論会：年4回程度、現場見学：適宜開催）。本研究会の意見交換およびネットワーク形成を通して、技術ニーズと現場ニーズをマッチングさせた新しい研究課題の提起を目指します（維持管理評価技術のフィールド適用検証など）。

### 3. 研究期間

平成29年3月～平成30年2月

### 4. 組織

主査：廣畑幹人（名古屋大学 大学院工学研究科）  
副査：高嶋康人（大阪大学 接合科学研究所）  
幹事：岡野成威（大阪大学 大学院工学研究科）  
委員：和泉遊以（滋賀県立大学）、清水優（名古屋大学）、小谷祐樹（川田工業）、松本直幸（IHI）、岡本亮二（阪神高速道路）、吉田善紀（鉄道総合技術研究所）

### 5. 参加資格

インフラ溶接構造物の維持管理およびその評価技術について関心があり、情報交換に積極的に参加できる方。当該分野における新規テーマ開拓に強い意欲のある方。将来性のある新しい研究分野の開拓を目的とするため、原則として40歳未満の若手研究者、技術者（産官学）を対象とします。溶接学会会員、賛助員企業の参加はもとより、他学会に所属する研究者、技術者の参加も歓迎します。

### 6. 問合せ・申込先

氏名、所属、部署、職名、連絡先（住所、TEL、e-mail）、専門分野を記載し、電子メールにて下記までご連絡ください。  
廣畑幹人（名古屋大学 大学院工学研究科 准教授）  
E-mail：hirohata@civil.nagoya-u.ac.jp

## ● 学生員への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について

溶接学会では、ご承知のとおり J-STAGE による学会誌、論文集、全国大会概要集の電子版による公開閲覧を鋭意進めて参りました。

この度、平成 29 年 4 月から学生員については、学会誌の冊子送付を廃止し、J-STAGE 電子版を閲覧いただくことになりました。(平成 28 年 12 月 19 日理事会決議)

溶接学会誌の J-STAGE 電子版は、会員特典を考慮し、発刊後 5 年以内は会員限定閲覧で、5 年より以前のもは一般公開となります。

したがって、学会誌の J-STAGE 電子版を閲覧いただくには、「会員閲覧認証登録」が必要です。

つきましては、必ず「マイページログイン」(溶接学会 HP 右上)から「会員閲覧認証登録」を申請して下さい。

なお、学会誌掲載の会報・会告につきましては、溶接学会 HP にて、閲覧できるようにいたします。

## ● 一般社団法人溶接学会第 85 回通常総会並びに平成 29 年度春季全国大会開催通知

第 85 回通常総会並びに平成 29 年度春季全国大会を下記の通り開催いたします。

### 【第 85 回通常総会】

日 時：平成 29 年 4 月 20 日(木) 10:00~11:30(予定)

場 所：学術総合センター 2F 一橋大学 一橋講堂

議 題：平成 28 年度事業報告、平成 28 年度決算報告

### 【平成 29 年度春季全国大会】

期 日：平成 29 年 4 月 19 日(水)、20 日(木)、21 日(金)

場 所：学術総合センター 2F 一橋大学 一橋講堂

講演会プログラムはホームページに掲載いたします。

<http://jweld.jp/index.html>

全国大会参加費：(概要ダウンロード権を含む)

正員・賛助員 10,000 円(不課税) 学生員 5,000 円(不課税)

非会員(学生) 10,000 円(税込) 非会員(学生以外) 20,000 円(税込)

## ● 会員専用ページ「マイページ」の開設について

溶接学会の個人会員各位には、平成 27 年 7 月初旬に「会員専用ページに関する重要なお願い」を郵送させていただいています。必ずご一読ください。

このたび溶接学会では会員サービスの一環として、個人会員各位を対象とした会員専用ページ「マイページ」を新たに開設いたしました。

マイページでは、ご自身の会員情報を管理していただけるとともに、各種サービスのご利用が可能となります。

まずは、郵送のマニュアル「初回ログイン時にしていただくこと」をご参考に、マイページにアクセスしていただき、下記の操作(約 5~10 分)をお願いいたします。

①ログイン → ②会員情報確認・変更 → ③パスワード変更 → ④マイページ内の完了ボタン(会員情報等変更の有無にかかわら

ず必ず押してください)

なお、マイページの URL は、[member.jweld.jp/mypage](http://member.jweld.jp/mypage) ですが、溶接学会 HP からログインできます。

会員番号とパスワードは、大切にお控えください。

また、E-mail アドレスは、重要な連絡や ID 等として必須となりますので、会員ご本人が常時ご使用の PC 用 E-mail アドレスを必ずマイページにご登録ください。

(マイページに登録された E-mail アドレスが正しいかご確認ください)

ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## ● 平成 28 年熊本地震による被災会員(個人会員)の平成 28 年度会費免除について

この度の平成 28 年熊本地震により被災されました会員の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、会員ならびにご家族の皆様のご健康・ご安全と一日も早い復興をお祈りいたします。

被災されました個人会員(被災時点で正員、学生員の方)の平成 28 年度年会費を全額免除することになりました。(平成 28 年 6 月 27 日理事会決定)

年会費免除をご希望される会員は、下記溶接学会 HP をご覧の上、お申し出下さい。

溶接学会 HP <http://www.jweld.jp/>

なお、既に平成 28 年度年会費をご納付いただいている場合には、平成 29 年度年会費に充当させていただきます。

## WEB掲載の溶接学会論文集34巻(平成28年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される方は、下記により、平成29年3月31日までに申し込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集34巻(平成28年度)

【価格】 15,500円/冊(税込・送料別)

【申込先】 「お名前(会社名)」「送付先住所」「冊数」  
をご明記の上、FAXにてお申し込み下さい。

日本印刷出版株式会社

TEL: 06-6441-0075

FAX: 06-6443-5815

## 平成29年度春季全国大会講演概要の頒布について

平成27年度春季全国大会より講演概要はデジタル化され、配布方法はホームページからのダウンロードのみとなり、従来のような大会前、大会当日の販売は廃止いたしました。

ただし、印刷版の全国大会講演概要は大会終了後、希望者へ別売にて提供させていただきます。

購入を希望される方は下記要領にてお申し込みくださいますようお願いいたします。

平成29年度春季全国大会講演概要

価格: 12,000円(税・送料込)

発送時期: 平成29年6月下旬頃

【申込方法】

「書籍名」「ご連絡先」「お名前」「冊数」をご明記の上、FAXにてお申し込みください。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 全国大会運営委員会 宛

F A X : 03-5825-4331

申込締切: 平成29年5月8日(月)

入金締切: 平成29年5月31日(水)

なお、入金締切日までに納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

## 溶接学会主催行事予定について

溶接学会本部、支部を含め、全国大会、シンポジウム、研究発表会、講演会、講習会、研修会、見学会など溶接学会主催の公開行事の予定を溶接学会ホームページに掲載していますので、ご参照ください。

溶接学会HP「イベント情報」→「溶接学会主催行事予定」をクリックして下さい。

URLは、<http://www.jweld.jp/event/pdf/event-main-calendar.pdf>

# Mate2017 第23回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム

— IoT時代に求められる電子システム創成 — **参加者募集**

**日 時**：平成29年1月31日（火）8：50～17：40  
2月1日（水）8：50～17：05

**会 場**：パシフィコ横浜 会議センター  
横浜市西区みなとみらい1丁目1-1

**主 催**：（一社）スマートプロセス学会 エレクトロニクス生産科学部会  
（一社）溶接学会 マイクロ接合研究委員会

**共 催**：（一社）エレクトロニクス実装学会  
（公社）化学工学会 エレクトロニクス部会  
（一社）レーザ加工学会

**協 賛**：応用物理学会、軽金属学会、精密工学会、電子情報通信学会、日本機械学会、日本金属学会、日本材料学会、日本溶接協会

## 〈開催趣旨〉

日本のエレクトロニクス産業は、この20年間、高機能化、高信頼化、小型化、低コスト化の技術開発に支えられた新たな電子デバイス・部品を組み込んだ電子システム創成の下、日本の高度成長を牽引してきました。今後も日本が世界を先導し続けるには、生産技術を科学的に探求することはもちろんのこと、既存の学問領域、設計・生産技術などの領域を越えて、エレクトロニクスを取巻く科学技術、経営・生産システム、価値システム、などの広い範囲を取り込んだグローバルなオプティマイゼーションとそれに基づくシステムインテグレーションが不可欠になってきています。本シンポジウムは、これら生産技術に関する最新の研究・開発に関する研究者相互の情報交換の場をより広くかつ定期的に持ち、生産の科学と技術の進展を促すことを目的として企画開催されます。

## 【シンポジウム参加登録費（論文集代を含む）】

- 主催団体個人会員 : 20,000円
- 大学・国公立研究機関 : 20,000円
- 口頭発表者・座長 : 20,000円
- 主催団体維持・賛助会員 : 25,000円
- 共催団体会員 : 25,000円
- 協賛団体会員 : 30,000円
- 一般 : 35,000円
- 学生 : 10,000円

## 【シンポジウム参加申込方法】

下記シンポジウム URL より、平成29年1月13日（金）までに参加登録を行って下さい。

<http://sps-mste.jp/mate2017/src/index.html>（11月中受付開始）

○参加費のお支払いは銀行振込にてお願い致します。振込期日までにお振込みが間に合わない場合は、当日現金にてお支払い願います。

振込先銀行：三井住友銀行 千里中央支店

口座番号：普通0978673

口座名：Mate組織委員会 [メイトソシキイインカイ]

振込期日：平成29年2月28日（火）

○シンポジウム1日目に懇親会を開催します。シンポジウム参加申込時にお申し込みください。

懇親会参加費：5,000円

## 【問合せ、申込先】 Mate 2017 事務局

（ものづくりリエゾンオフィス（MLO）内）

TEL：06-6878-5628 FAX：06-6879-7568

E-mail：mate@sps-mste.jp

シンポジウム URL：

<http://sps-mste.jp/mate2017/src/index.html>

## プログラム（セッション名と発表件数）

●プレナリーセッション（1月31日（火）13：50～15：50）

「IoT時代に求められる電子システム創成」

1. オープンIoTで創る新しい社会：  
坂村 健氏 東京大学
2. IoTを巡る動向とものづくりの将来展望：  
澤田 浩之氏 産業技術総合研究所
3. 「シミュレーション統合生産」によるサイバーフィジカル動的最適化生産～IoT時代に先見力を与える予測的エンジニアリング～：  
中村 昌弘氏 ㈱レクサーリサーチ
4. 製造現場におけるIoTを活用した生産革新：  
松原 伸治氏 三菱電機㈱

| 1月31日（火）8：50～17：40  | 2月1日（水）8：50～17：05  |
|---|--|
| [A-1] パワーデバイス（1）（5件）<br>[A-2] ナノ・マイクロマテリアル（5件）<br>[B-1] 実装材料の信頼性評価（5件）<br>[B-2] 回路基板・パッケージ（講演1件＋論文3件）<br>[C-1] マイクロ加工（5件）<br>[C-2] 生産・製品システム（講演1件＋論文4件）<br><br>プレナリーセッション 13：50～<br>ポスタープレゼン 16：00～<br>ポスターセッション 16：40～<br>懇親会 17：50～ | [A-3] ソルダリング（1）（4件）<br>[A-4] ソルダリング（2）（4件）<br>[A-5] パワーデバイス（2）（4件）<br>[A-6] パワーデバイス（3）（4件）<br>[A-7] パワーデバイス（4）（4件）<br>[B-3] 実装構造における疲労信頼性評価（4件）<br>[B-4] 接着技術（4件）<br>[B-5] 樹脂実装（4件）<br>[B-6] 3D実装（4件）<br>[B-7] MEMS・医療センサ（4件）<br>[C-3] プリントブルエレクトロニクス（4件）<br>[C-4] 熱マネジメント（4件）<br>[C-5] マイクロ接合（1）（4件）<br>[C-6] マイクロ接合（2）（4件）<br>[C-7] 新材料・プロセス（4件）<br>（依頼講演2件＋一般論文発表87件 合計89件） |